

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGON Kids 長柄		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが、自分らしく過ごせる居場所に！を事業所理念とし、子どもたち自身が自分の気持ちや内面に目を向け、「自分らしく」生きる力を身につけられるよう、個々に合わせた支援を行っています。	ひとりひとりが楽しく過ごしながら出てくる困りごとに目を向け、ゆるやかな空気感の集団環境の中で全体に向けて同じ支援を行うのではなく、個々の特性や得意不得意に合わせて支援プログラムを計画しています。	空間をうまく活用しより落ち着いた居場所づくりができるように努めます。
2	五領域に合わせて作成されたプログラムで既にできるようになったことにも目を向け支援を行っています。	日々の当たり前になったできることにも目を向け肯定的な声掛けを心がけています。	朝礼終礼等を通して今後も肯定的な部分を見つけていけるように努めます。
3	目安箱や日常会話などを通して子どもたちからの意見を吸い上げて反映できるようにしています。	同様に保護者様との送迎時のフィードバックなどを通してお話しも伺いし日頃の支援へと繋げています。	より積極的に子どもたちからの意見を出してもらう為、役割や部のようなグループを組む機会を作るなど取り組んで参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の狭さや分離できる環境作りが足りていません。	どういった環境が必要なのかまだ情報環境資金も不足していた時期からある事業所の為、環境整備が整っているとは言い切れません。	近隣の機能訓練室などを利用し児童の分散を図り環境調整を行っています。
2	保護者様向けや周辺地域との連携が不足しています。	区の障がい者基幹相談支援センターのイベント委員会や子ども部会などを通して地域と連携はしているのですが対応時間帯などの違いもあり児童クラブとの連携は取れていません。	障がい者基幹相談支援センターの子ども部会で父母の会の方々となつなげる機会を作っていただく予定です。
3	マニュアル類や避難訓練、緊急時対応などの周知が保護者様に行き届いていません。	広報紙でのお伝えも行ってまいりましたが内容のわかりにくさが原因であると感じています。	伝わりやすく広報紙の内容等工夫して参ります。